

浅岡 千利世(英語学科教授)共編著

『教師の自己評価』で英語授業は変わる
J-POSTLを活用した授業実践』

大修館書店 2020年3月 2800円



教師が授業を自ら評価するポートフォリオを導入すると、英語学習の指導はどう変わるのか。実践例を挙げながら、新学習指導要領を見据えた授業改善へのヒントを探る一冊です。

森永 卓郎(経済学科教授)著

『相続地獄
— 残った家族が困らない終活入門』

光文社 2021年1月 760円



父の逝去から10か月、まさに「泥沼の争族」を経験してきた筆者。経験者として、経済学者として…ふたつの視点から語る、相続で遺族を苦しめないための終活の入門書。



本箱

本学の先生方が執筆された
新刊情報

Books column

宗田 貴行(国際関係法学科教授)著

『消費者団体訴訟の理論』

信山社 2021年1月 13500円



立場が弱くなりがちな個人消費者を護る消費者団体訴訟制度。日本では2006年に導入されたこの制度が抱える課題とは？ ドイツやEUでの議論・法令を参考に読み解きます。

小柳 春一郎(法律学科教授)分担執筆

『物権法の現代的課題と改正提案』

成文堂 2021年2月 12000円



所有権を担保する法的な概念から、集合的利益などの新しいかたちの財、所有者不明の土地の権利と管理まで、様々な物権に関わる課題や法的背景を、この一冊で解説しています。

小柳 春一郎(法律学科教授)著

『仏日不動産法の現代的展開 — 所有者不明・無主不動産・土地所有権放棄・相続登記未了 —』

成文堂 2021年2月 6500円



フランスと日本での不動産法に関わる、様々な課題や問題事項に関する論文集です。新たに執筆された論文も収録しており、この一冊で同テーマを網羅的に学ぶことができます。

板場 良久(英語学科教授)分担執筆、
松本 健太郎(英語学科非常勤講師) 編著

『メディアとメッセージ — 社会のなかのコミュニケーション』

ナカニシヤ出版 2021年3月 2400円

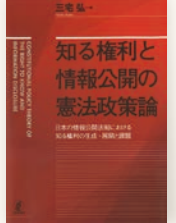


テクノロジーの進化によって姿を変えるメディア、届けられるメッセージの在り方を、様々な側面から切り拓く論文集。15人の論客による論文を4つのテーマで収録しています。

三宅 弘(交流文化学科特任教授)著

『知る権利と情報公開の憲法政策論 — 日本の情報公開法制における知る権利の生成・展開と課題』

日本評論社 2021年3月 5500円



日本における情報公開法制はいかにして生まれ、整備されるに至ったのか？ 憲法が保障する「知る権利」にまでさかのぼり、その内実と歴史を改めて分析・構成していきます。

朴 鍾厚(言語文化学科特任准教授)著

『コソコソ韓国語文法練習帳(初級)』

博英社 2021年3月 1600円



文字と発音の第一部、文法の第二部という二部構成で学ぶ、初級レベルの韓国語教材です。基本解説に加え、練習問題と模範解答も掲載。韓国語入門の強い味方になってくれます。

森永 卓郎(経済学科教授)著

『森永卓郎の「マイクロ農業」のすすめ
都会を飛び出し、「自産自消」で豊かに暮らす』

農文協 2021年3月 1400円



筆者が体験した都会と田舎の間で生きる新しい暮らし、「トカイナカ」への提案です。小さな畑を借りて行う「マイクロ農業」の魅力とともに、現代社会に幸せのありかを問いかけます。

立田 ルミ(名誉教授)編・著、堀江 郁美(経営学科教授)、李 凱(経営学科准教授)著

『実践に役立つ情報処理
— 基礎から応用まで — 2021年度版』

日経BP社 2021年3月 1900円



レポートの執筆やデータ集計、グラフ作成から、データの調査・分析、プログラミングの初歩まで、大学生で役立つ情報処理のテクニックを解説。基本が身につく実践教材です。

周 劍龍(経営学科教授)著

『現代株式会社法講義』

中央経済社 2021年3月 3200円



企業の社会的な意義、分類などから出発し、株式会社とそれを巡る規律について、一般的な通説とともに実際の判例などの研究学説を紹介。明解かつ興味深い一冊になっています。

木原 隆司(国際環境経済学科教授)分担執筆

『人口動態変化と財政・社会保障の制度設計』

日本評論社 2021年3月 4700円



人口における年齢分布など、人口動態が国の財政や社会保障に与える影響とは。高齢者層が「多数派」となった日本の世代間格差を是正する道を、多面的に探り出す一冊です。

福永 文夫(総合政策学科教授)著

『(英文版)日本占領史1945-1952:東京・ワシントン・沖縄 The Occupation of Japan 1945-1952: Tokyo, Washington, and Okinawa』

出版文化産業振興財団 2021年3月 3000円



戦後日本を創った7年間におよび日本占領を、日米双方の記録からひも解いた書の英語版。国内外の大学、図書館、在外公館等に寄贈、国内外に発信する。

根木 昭英(フランス語学科専任講師)分担執筆

『フランス文学の楽しみかた
— ウェルギリウスからル・クレジオまで —』

ミネルヴァ書房 2021年4月 2800円



第一部では、古代ローマの叙事詩「アエネーイス」から20世紀の大作「失われた時を求めて」まで順に解説。第二部では文学の持つテーマや意味に切り込む、フランス文学を俯瞰する解説書です。

■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としてあります。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。